

あおもり市議会だより

森のざかい

平成30年第3回定例会の内容を
わかりやすく 市民の皆さんにお伝えします

Vol. 7
平成30年11月

特

集

高齢者

in あおもり

目次

特集	P 2
議決した主な議案	P 4
こんなことを聞きました。	P 5
トピックス	P 16

特

集

高 齢 者

in あ お も り

今回は「高齢者」がテーマ。現在の人口減少、少子・高齢化といった社会の流れは、劇的な改善が困難な大きな課題です。このような中、いつまでも健康で元気に活動する高齢者がふえることは、活気のあるまちづくりにますます重要なものとなってきます。そこで今回は、高齢者の生きがいくくりや健康づくりを推進している青森市老人クラブ連合会（以下「市老連」といいます。）の会員の皆様にお集まりいただき、日ごろの活動や悩みなどについてお話を伺いました。

〈青森市老人クラブ連合会とはどのような団体ですか？〉

昭和41年4月に創立し、ことしで52年目になります。これまで「健康」、「友愛」、「奉仕」の3大運動を柱に活動を行ってきました。

〈現在の活動内容をお聞かせください〉

「健康」に関する事業としては、スポーツ大会、ウォーキング、ニュースポーツ（ユニカール）の講習会等を、「友愛」に関する事

〈活動に当たっての課題、悩みなどをお聞かせください〉

業としては、トランプ大会、芸能大会、日帰り研修等を、「奉仕」に関する事業としては、市内に154ある単位クラブを中心に清掃活動や通学路の除雪活動、ひとり暮らしの見回り活動等を行っています。

大きな問題は、会員数の減少です。会員の高齢化による自然減は仕方がないですが、若手（会員の資格が60歳からにつき60歳から70歳くらいまでを指します）の入会者が少ないです。会員の構成は70代から80代が約81%、60代はまだ働いているということもあって1割台にとどまっており、催物の準備等も高齢者だけでは大変になってきているため、この年代をふやす対策が必要と考えています。また、「老人クラブ」という名称に

Let's
座談会

抵抗感があって入会しない方もいます。単位クラブはともかく、市老連の名前は変更できないのです。

〈今後の活動の展望をお聞かせください〉

平成28年度から行っている活動に、「あすかプラン」があります。青森シニアクラブアソシエーションの頭文字をとって「あすか（ASCA）」としたもので、特にひとり暮らしの高齢の方が困るであろう電球の交換、窓拭き、草取り、ごみ出しなど、これまで御近所、親戚が支援してきたことを我々が安い単価でお手伝いするイメージです。今はまだモデル事業の段階ですが、この取り組みが浸透し、老人クラブは頼りになるとの評価をいただければ、会員数もふえるのではと考えています。

また、会員の3分の2は女性会員で、女性部としてもファッションショーや作品展等さまざまな取り組みを行っていますので、もっとPRしたいと考えています。

〈市や議会（議員）に対して言いたいことは？〉

事務局の運営については、浪岡地区や他の自治体では社会福祉協議会が担っていますが、我々は原則自主運営であり、事業に対する市からの補助金もあるものの、会員数の減に伴い会費収入も年々減ってきているので、何とかならないかと思うこともあります。

ほかには、駅前庁舎入り口付近の空きスペースなどを我々に開放していただき、我々が行っている元気アップル体操など高齢者を対象にしたイベントなどに定期的に活用していければ、高齢者が外に

出ていくきっかけにもなるのではと考えています。

〈最後に一言！〉

高齢者といっても心の問題で、私もまだ若い、頑張っていこうといつも話しています。今後市老連の活動に対し、市民の皆様の御理解と御協力をお願いします。



座談会を終えた市老連の皆さん（前列左から副会長の今井敏昭さん、会長の齋藤昇一さん、副会長の石澤キミエさん、木村文男さん、鈴木重一さん）と取材した議会広報広聴特別委員会委員（後列）。

青森市議会

議決した主な議案です。

●平成30年第3回定例会

会期30日間 8月29日～9月27日

●第3回定例会で可決等した議案等

市長提出議案31件中……………31件

(可決25件、認定3件、

可決及び認定1件、同意2件)

議員提出議案10件中……………8件

(可決)

諮問10件中……………10件

(棄却すべきと答申)

■以上の中から主なものをお知らせいたします。なお、全ての議案名と結果は、市議会ホームページでごらんいただくか、議会事務局へお問い合わせください。

その1

リンゴ黒星病の緊急対策に
要する経費を措置しました

今期定例会では、開会日に一般会計を初め計14件の補正予算案が提案され、また、本会議3日目に、津軽地域で広く発生しているリンゴ黒星病の蔓延防止に向けたリンゴ放任園の伐採処理等に対する交付金及び被害果等の処分に要する経費284万6千円を早急に措置するため、一般会計の追加補正予算案が提案されました。

市議会では追加補正予算案を同日付で可決するとともに、残る全ての補正予算案についても本会議最終日に、原案のとおり可決しました。その結果、青森市の平成30年度の一般会計の予算額は、次のとおりとなりました。

●平成30年度青森市

一般会計補正予算額

3億4千454万4千円

補正後の予算額

1千231億55万1千円



黒星病の被害果

その2

平成29年度各会計決算を
認定しました

今期定例会では、地方自治法の定めにより議会の認定に付さなければならぬとされている決算として、平成29年度一般会計・各特別会計決算を初め、各企業会計決算に係る議案が提案されました。

提出者からは、一般会計・特別会計全体の実質収支はいずれもプラスであったこと、病院事業会計決算では資金不足が発生したこと、自動車運送事業会計は資金不足が解消されたことなどそれぞれ説明がなされ、市議会では、いずれの議案についても原案のとおり認定しました。

*水道事業会計決算は可決及び認定

その3

浪岡細野溪流魚増殖実習場が
廃止されます

●青森市浪岡細野溪流魚増殖実習場設置条例を廃止する条例の制定について

その4

議員定数の削減に関する条例案は否決しました

●青森市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について

今期定例会では前定例会に続き、閉会日に議員提出議案として、現在の議員定数35人を32人に改正する条例案が提案されました。

議場では、「市民の皆様から『議員が多い』との声に応えたい」との提案理由の説明に對

同施設は平成元年、市民の皆さんの自然体験活動や学習の場のために設置され、長年使用されてきましたが、近年の取水量の減少と飼育環境の悪化のため、機能を継続することが困難となり、今年度をもって廃止することとなりました。



廃止となる浪岡細野溪流魚増殖実習場

質問・質疑

こんなことを聞きました。

第3回定例会において行われた、一般質問、予算特別委員会及び決算特別委員会の質疑の中から、一議員につき一項目の質問・質疑及び答弁の要旨を掲載しています。

●質問・質疑を行った議員・委員数

●第3回定例会

一般質問	24名
予算特別委員会	17名
決算特別委員会	16名

し、「議会として身を切る改革が必要である」、「他の中核市と比較しても今回の削減は合理性がある」、「提案理由が曖昧であり、32人とする根拠もない」、「前回の削減と合わせると9議席減となり、議会の役割が大きく低下する」などの意見が出されました。

市議会ではこの議案について、起立採決の結果、賛成少数（賛成14、反対20）で否決しました。

防 災



被災地支援に係る有料道路の無料措置について

自民清風会 館山 善也

Q 被災地支援等のボランティアの方は土日に行く方が多いと思います。が、有料道路の料金無料措置に係る土日・祝日の手続の対応についてお示しください。

A 市では、被災地支援等に係る車両の有料道路の料金無料措置について、災害派遣等従事車両証明書の発行事務を行っています。当該事務は、ボランティアの方が迅速に現地に入れるよう土日・祝日も行っていますが、この場合の手続に関しては、事前に御連絡をいただいた上での申請をお願いいたします。

青色は、総務企画常任委員会に関連する質問・質疑です。

職 員



市職員の人材育成

について

社民党 藤田 誠
ふじた まこと

Q 職員の質の向上は市役所の質の向上、ひいては青森市の質の向上につながるものと考えますが、職員の人材育成をどのように進めるのかお示しください。

A 市では、職員が複雑・多様化する行政課題や市民ニーズに的確に対応できるよう、専門的な職種等に対応した研修、長期的な人事ローテーションの実施、多様な職務を経験させ知識・技術を習得し、昇任するキャリアアップ制度の構築等人材育成方針の検討をしており、今後も組織の活性化を図るため人材育成に取り組んでまいります。

職 員



市職員の時間外労働の

実態について

新政無所属の会 奈良岡 隆
ならおか たかし

Q 働き方改革関連法の成立に伴い一部企業では平成31年度から時間外労働の罰則つき上限規制が施行されますが、市の対応と市職員の時間外労働の実態をお示しください。

A 市では、これまでも職員の心身の健康の維持増進等の観点から超過勤務縮減に取り組んでおり、時間外労働の上限規制については人事院勧告等を踏まえ対応してまいります。平成29年度の本市の時間外労働の実態は、時間外労働を行った職員1人当たりの年間時間数は154・4時間、最も多かった課では1人当たり610・5時間でした。

職 員



本市の障がい者雇用の

取り組みについて

市民クラブ 竹山 美虎
たけやま よしとら

Q 市は、障がいのある方の雇用について、市内事業者の牽引役となるよう今後も力を入れて取り組むべきと思います。国の障がい者雇用者数の水増しが連日報道される中、本市では同様の事案はないかお示しください。

A 市では、国の「プライバシーに配慮した障害者の把握・確認ガイドライン」に基づき、採用時はもとより採用後に障がいのある状態になった場合も含め、障害者手帳または指定医等による診断書等を確認の上、写しを提出いただいております。不適切な事例はありません。

庁 舎

から公共交通機関を利用いただき
たいと考えてい
ます。



広く明るくなった
駅前庁舎2階「さんぽぽ」

A

市では、公共交通機関利用者との
公平性を図る必要性、周辺の民間
駐車場への配慮の必要性などから、
免除時間の延長は現在考えていま
せんが、駅前庁舎は鉄道や市営バ
ス等を利用しや
すい環境にある
ことから、これ

Q

さんぽぽ利用者の駐車料金は現在
1時間までが免除となっています
が、1時間以内で帰る方は少ない
と思います。子育て世代に優しい
青森市として、駐車料金の免除時
間を1時間から2時間に延長でき
ないか、考えをお示しください。



さんぽぽ利用者の

駐車料金について

公明党 山本 武朝
やまもと たけとも

総 務

A

市ではICTを活用し、住民記
録・税・福祉等さまざまな業務を
システム化して定型業務の効率
化・省力化に取り組んできたところ
です。今後、RPAについては、
他自治体での活用事例等も踏まえ、
業務の効率化と費用対効果を見き
わめながら研究していきます。

Q

RPAは、ロボットによる業務自
動化と言われ、人間がパソコン上
で行う定型業務を自動化し、生産
性向上を図る手段として注目され
ています。本市の定型業務へのR
PA導入の検討について、市の見
解をお示しください。



市の定型業務への

RPA導入について

市民クラブ 工藤 健
くどう けん

選 挙

A

市では、これまで期日前投票所と
して開設していた市役所第3庁舎
の代替場所について、今春から市
内公共施設・民間施設を調査、検
討した結果、イオン青森店3階会
議室に設置することとしました。
また、アウガ5階の期日前投票所
について投票スペース拡大の観点
から6階会議室へ変更することと
したため、「広報あおもり」等で
周知を図ってまいります。

Q

現在、市役所本庁舎は建設中であ
り、市役所第3庁舎での期日前投
票所の設置は困難であると考えま
すが、市の対応をお示しください。



市役所第3庁舎での

期日前投票所について

新政無所属の会 中村 節雄
なかむら せつお

市民生活



合葬墓の整備に係る 市民意見の反映について

日本共産党 館田 瑠美子
たぐだ るみこ

Q 合葬墓の整備に当たり、合葬墓を利用したいと思っている市民の声をどのように反映させていくのか、市の考えをお示しください。

A 市が月見野霊園内に整備を予定している合葬墓に対しては、平成25年度第2回市民意識調査において合葬墓を利用したいと回答した方の約5割が回答した、利用料が低額であること、生前に申し込みができることなどの要望があるものと認識しており、このような要望等や他都市の状況を踏まえながら、合葬墓の運用方法を調整していくこととしています。

アウガ



アウガに係る特別清算の 経緯について

新政無所属の会 中村 美津緒
なかむら みつお

Q 青森駅前再開発ビル株式会社の特別清算については本年4月に終了しました。市民の税金が投入されていること等を踏まえ、その経緯については市民に対してしっかりと報告すべきと思いますが、市の考えをお示しください。

A 同社の特別清算については、本来は同社が裁判所の監督下で行うものですが、市としても重要なことと捉え、その経緯については節目節目で議会に報告するとともに、市長記者会見等で周知を図っていることから、市民への改めての報告は考えておりません。

雇用・労働



職業訓練法人青森情報 処理開発財団について

新政無所属の会 丸野 達夫
まるの たつお

Q 同財団創立30周年記念事業等を活用したあおりコンピュータ・カレッジの学生募集策の強化とは、どのようなものかお示しください。

A 同財団では創立30周年の節目として、来る11月17日に記念イベントの開催を予定しており、具体的には高校生にICTに興味・関心を持ってもらいたい同カレッジへの入学を確保するため、最新のICTに関する基調講演やYouTubeチャンネルによるトークショーのほか、最新の情報機器体験や、入学相談を行えるオープンキャンパスをあわせて開催することです。



緑色は、文教経済常任委員会に関連する質問・質疑です。

観 光



本市における外国人 宿泊者の状況について

自由民主党 中田 靖人
なかた やすひと

Q 平成29年の外国人宿泊者数の速報値では、本県の都道府県別伸び率が全国1位でした。天津線の就航やソウル便の増便などの影響と推察しますが、本市の外国人宿泊者数の状況についてお示しください。

A 平成29年の本市における外国人宿泊者数は、前年比で約75%増の約2万1千人泊となり、平成22年の統計開始以来過去最高を記録しました。また、平成30年1月から7月までの同宿泊者数も、前年比で約28%増の約1万3千700人泊となっており、今後増加が見込まれるものと考えています。

農林水産



農業者を対象としたタウ ンミーティングについて

新政無所属の会 小倉 尚裕
おくら なたかひろ

Q 攻めの農林水産業として、小野寺市長が農業者とさまざまな形で意見を取り交わす農業者対象のタウンミーティングが行われましたが、その状況をお示しください。

A 市では、農林水産業に携わる方々の課題やニーズを把握するため、本年8月8日、10日、29日にそれぞれ浪岡地区、東部地区、西部地区で農業者を対象としたタウンミーティングを開催しました。同ミーティングは来年度も継続して開催したいと考えており、寄せられた意見等については本市の施策に反映させてまいります。



浪岡地区でのタウンミーティングの様子

農林水産



青森市生産者6次産業化 支援事業について

自由民主党 長谷川 章悦
はせがわ しょうえつ

Q 当該事業については、より多くの農家の方に活用いただきたいと考えていますが、平成28年度以降の活用実績をお示しください。

A 当該事業は、県が実施する「地域の6次産業化」スタートアップ支援事業及び農山漁村女性起業育成事業の対象者に対象経費の4分の1相当額のかさ上げ助成を行うもので、平成28年度は農産物を活用した加工品開発等3件に対し約44万2千円、平成29年度は無添加の煮リンゴの開発等3件に対し約45万5千円を助成し、今年度は2件の問い合わせをいただいています。

教 育



浪岡北小学校の
屋根の様子

A 学校施設の改築等には多額の費用を要するため、市教育委員会では、老朽化した設備等の現状を把握した上で優先順位を検討し、整備を進めることとしています。御指摘の屋根のさびについては、現地確認の結果、屋根全体の改修が必要であると考えており、限られた財源の中で優先度を見きわめながら適切に対応してまいります。

Q 浪岡北小学校及び浪岡南小学校の屋根のさびについて、地域住民や保護者から改善を求める声が寄せられています。市教育委員会の考えをお示ください。



浪岡地区の教育環境の
改善について

日本共産党
天内 慎也
あまない しんや

教 育

学校と連携を図りながら、樹木の維持管理に努めてまいります。



学校地内に茂った樹木の一例

A 学校地内の樹木の維持管理は、通常学校職員が枝払いを行い、倒木の危険や背丈の高い樹木等については、緊急性の高いと判断したことから市教育委員会の小回り修繕班が順次剪定、伐採を行っており、対応が困難な場合は造園業者等に委託して対応しています。今後も

Q 学校地内には、余りにも大きくなり学校職員では手に負えない状態の樹木がたくさんあります。これらの剪定はどのように行っているのかお示ください。



学校地内の樹木の
剪定について

市民クラブ
奈良 祥孝
なら しょうこう

教 育

A 市教育委員会では、設置者と保護者との協力のもと実施されるべきとの学校給食法の趣旨や本市の持続可能な財政運営を考慮すると、新たに多大な財政負担が生じる学校給食費の無償化については考えておらず、食料費の保護者負担については、議員の見解と同様です。

Q 全ての子どもが無料で給食を食べられるよう、学校給食費を無償化すべきと思いますが、市教育委員会の認識を示してください。また、食料費を保護者負担とすることの法的な拘束はないと考えますが、見解を示してください。



学校給食費の無償化
について

日本共産党
村川 みどり
むらかわ

教 育



小中一貫教育における 英語教育について

新政無所属の会
奥谷 進おくや すずむ

Q 市教育委員会では、小中一貫教育の中で英語教育にどのように取り組んでいくのかお示しく下さい。

A 市教育委員会では、英語教育について、小学校から中学校への学びの連続性が必要と考え、小中一貫教育を試行的に行っている三内中学校区において中学校の英語担当教員が年間を通して小学校に乗り入れ授業を行っており、これにより子どもたちの語学力の向上が図られるとともに、中学校教員との協働により、小学校教員の指導力向上も期待できると考えています。

都市整備



青森操車場跡地利用計画 について

市民クラブ
木下 靖きのした やすし

Q 青森操車場跡地利用計画策定作業の時期と策定プロセスについて、市の考えをお示しく下さい。

A 市では、青森市アリーナプロジェクトを進めるに当たり、その具体的な機能等について、有識者会議からの意見を伺いながら進めているところであり、県有地を含めた跡地全体の利用計画についても、同プロジェクトと並行して検討を進めてまいります。今後は、平成25年3月に青森操車場跡地利用計画審議会から出された答申を踏まえ、市が計画案を策定し、県に協議していくこととなります。



青森操車場跡地の風景

都市整備



浅虫温泉駅の バリアフリー化について

自由民主党
大矢 保おおや たけ

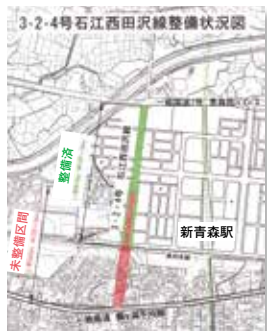
Q 浅虫温泉駅のバリアフリー化に関する県との協議内容についてお示しく下さい。

A 同駅のバリアフリー化については、平成29年7月の重点事業説明会において直接市長から知事に対し強く要望したところであり、その結果、県と市で同駅のバリアフリー整備勉強会を実施し、課題の抽出等を行い、今年度は、県とともに同駅のバリアフリー設備設置可能性調査を実施することとしており、当該調査の実施過程において、県と引き続き連携してまいります。

橙色は、都市建設常任委員会に関連する質問・質疑です。

都市整備

協議・要望を行ってまいります。



A 市では、同区間を重要な区間と認識しており、毎年県に対し県事業として整備を要望しているものの、現在は着手時期をお示しできる状況にはありません。今後も県に対し、同区間の早期事業化に向け、

Q 新青森駅周辺は、店舗、住宅等の増加とともに交通量もふえ続けています。このため、新青森駅西側の都市計画道路3・2・4号石江西田沢線のうち一般県道鶴ヶ坂千刈線までの未整備区間の整備が望まれますが、その整備予定をお示しください。



都市計画道路の整備について

自民清風会 木戸 喜美男
きど きみお

除排雪

A 市では、今冬に向けた市民雪寄せ場の確保のための新たな取り組みとして、現在不動産会社で管理している空き地を貸すことへの協力について、（公社）青森県宅建物取引業協会青森支部と打ち合わせを行っているところです。

Q 市民雪寄せ場は、平成28・29年度と件数が減ってきており、確保の取り組みが追いついていないのが現状だと思っています。減少している地域や全くない地域を把握し、ふやしていく取り組みが必要と考えますが、市ではどのような取り組みを行っているかお示しください。



市民雪寄せ場の確保について

日本共産党 山脇 智
やまわき ち

交通

高い運行方法を検討していきたいと考えています。



赤いねぶたん号も市内を走っています

A 今回の実証実験運行は、浅虫温泉や昭和大仏等、訪日外国人観光客にも人気の高い観光地を経由する東ルートを試験的に運行したものです。今後市では、今回の運行結果を分析した上で、二次交通としての利便性が高い運行方法を検討していきたいと考えています。

Q 市が本年7月から8月にかけて行った青森市シャトル・ルートバス「ねぶたん号」の東ルートでの実証実験運行については、観光面での効果も大きいため、ぜひ来年度も続けるべきと思いますが、市の考えをお示しください。



「ねぶたん号」の東ルートへの運行について

自民清風会 小豆畑 緑
あずはた り

交 通



東高校前のバス待合所

検討している状況です。

で、施工業者にも確認した上で、

A

これらのバス待合所は、強風等の風圧に耐える構造とするため、壁面に風を逃がすための空間を設ける必要があったものですが、市ではそのような声を把握しているの

Q



東高校前等の屋根つきのバス停について

日本共産党 藤原 浩平

交 通

A

若い人材の確保については、大型第二種免許所有者自体が高齢化しており、全国的な課題と考えています。このため市では、乗務員の労働環境の向上に取り組むことはもとより、関係団体等とも情報交換をし、職種自体の魅力を高められるよう、バス業界全体で対応を図る必要があると考えています。

Q

市営バスの乗務員について、嘱託職員として長期間勤務している方が多く、処遇の改善が必要と考えます。また、乗務員の高齢化についても改善が必要と考えますが、市の見解をお示しく下さい。



市営バスの乗務員について

社民党 斎藤 憲雄

下水道

A

本制度は、生活排水による水質汚濁防止のため、くみ取り便所等から合併処理浄化槽への転換設置に対し補助金を交付するもので、公共下水道認可区域及び農業集落排水施設整備済みの区域以外は全て補助対象区域としています。

Q

陸奥湾の水質を守る観点から、下水道の計画区域であっても布設の見通しが立たない場合、合併処理浄化槽の設置に対し補助を行うべきと考えますが、本市における現在の合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付制度の概要をお示ください。



合併処理浄化槽設置に係る補助金制度について

市民クラブ 秋村 光男

赤色は、民生環境常任委員会に関連する質問・質疑です。

福祉



社会的養護が必要な児童
への支援について

公明党 赤木 長義
あかぎ みつよし

Q 保護者がいない等、社会的養護が必要な児童を支援すべきと思いますが、市の考えをお示しく下さい。

A 国では、社会的養護が必要な要保護児童数の増加を背景に、社会的養育の充実等を掲げ、平成29年にはその具現化のための「新しい社会的養育ビジョン」を示したところです。市では、これまでも子ども家庭相談に対応できる体制の充実に努めてきましたが、近年の要保護児童数の急増を受け、児童相談所を初め関係機関と緊密に連携しながら、社会的養護が必要な児童の支援に努めてまいります。

福祉



子育て支援に対する
市の取り組みについて

自民清風会 渋谷 勲
しげたけ いさお

Q 本市の人口減少に歯どめをかけるには、子育て支援の取り組みは大事だと思いますが、市の取り組みについてお示しく下さい。

A 市では、これまでも子育て支援について妊娠・出産・子育て期における切れ目のないさまざまな支援に取り組んでおり、今年度においては、子どもの食と健康応援プロジェクトとして、子どもたちの健康的な食習慣づくりの推進等の取り組みを行っています。今後とも、子どもたちが健やかに生き生きと成長でき、安心して子育てができる環境づくりに努めていきます。

福祉



高齢者の地域での見守り
について

公明党 渡部 伸広
わたなべ のぶひろ

Q ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯の増加に伴い、地域での見守り活動は重要と考えますが、本市における取り組みについてお示しく下さい。

A 市では、高齢者の方々がいつまでも安心して生活できるよう、高齢者介護相談協力員による日常的な見守りや声かけ、民生委員・町会役員等による定期的な世帯訪問等により、支援が必要な高齢者の早期発見・早期対応に向けた見守りを実施しており、今後も高齢者を地域ぐるみで支える取り組みを進めてまいりたいと考えています。

福祉



高齢者のフレイル予防

について

公明党 軽米 智雅子
かろまい ちかこ

Q

加齢に伴い心身の機能が低下し脆弱となった状態をフレイルといい、フレイルを経て要介護となっていくします。茅ヶ崎市ではフレイル予防のため、赤や青のシール等を用いて高齢者自身がフレイルチェックを行い、虚弱の状態を「見える化」しており、要介護の防止に大変有効なものとなっています。本市でも参考としていくべきと思いますが、考えをお示しくください。

A

茅ヶ崎市の取り組みについては本市でも承知しており、今後の介護予防の取り組みを進める上で参考にしたいと考えています。



食育事業の中高・大学生への拡大について

無所属 橋本 尚美
はしもと なおみ

Q

市は今年度、園児や小学生を対象とした食育事業を始めましたが、近年は、朝食を抜く若者や、極度のダイエットで低栄養に陥る若い女子が増加するなど、危険な事態も起こっています。中高・大学生等へ本事業を広げていくことについて、市の考えをお示しくください。

A

市では、本事業を通じて子どもたちが健康的な食習慣を身につけ、成長していけるものと期待しており、また、高校生・大学生に対しても、関係団体や市民総ぐるみの健康づくり運動等を通しながら、連携を働きかけてまいります。



市が今年度行っている食育事業
こども食育レッスン1・2・3の様子



乳がん検診の受診率

について

社民党 仲谷 良子
なかや りょうこ

Q

乳がんにかかる人は年間約8万3千人、11人に1人だそうですが、本市の平成29年度の乳がん検診の受診率と、受診率向上に向けた取り組みについてお示しくください。

A

本市の平成29年度の乳がん検診受診率は10・2%でした。市では受診率向上のため、41歳を迎える方へ検診無料クーポン券を送付し、クーポン券の利用のない方へは再勧奨を行っているほか、特定の年齢の方への個別の受診勧奨等を行っています。また「広報あおもり」や市ホームページ、イベント等を通じて周知啓発に努めています。



41歳を迎える方へ送付される無料クーポン

健康づくり

健康づくり

健康づくり

政務活動費収支報告書をホームページで公開しています

政務活動費は、地方自治法に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、議会の会派または議員に対して交付されるものです。

本市議会では、「青森市議会政務活動費の交付に関する条例」等に基づき、政務活動費を交付しています。市議会ホームページではその収支報告書を公開しており、平成30年7月1日からは、平成29年度分の収支報告書を掲載しました。

なお、当該報告書は市内在住の個人・法人であればどなたでも閲覧できます。閲覧の手続きにつきましては、詳しくは、以下までお問い合わせください。

議会事務局総務課：017-734-5741

青森市議会 政務活動費

検索



政務活動費へのQRコードです

平成30年〔第1回臨時会 第4回定例会〕のお知らせ

平成30年第3回定例会には71人の傍聴者にお越しいただきました。次回の市議会定例会は、10月28日執行の青森市議会議員一般選挙後の新たな議員により、正副議長の選挙等を行うための臨時会を開催した後に開会し、期日は以下の予定ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

なお、本会議に来られない方は、市議会ホームページ内からインターネット中継（生中継または録画配信）をごらんください。議会中継には、下のQRコードからアクセスできます。

- ・11月26日 臨時会開会
- ・11月28日 臨時会閉会
- ・11月29日 定例会開会
- ・12月5日～7日、10日 一般質問
- ・12月12日 総括質疑
- ・12月26日 定例会閉会

※ 本会議はいずれも午前10時からです。

※ 会期については、変更の可能性がありますので御了承ください。



議会中継へのQRコードです



傍聴者入口を入ってすぐのところに受付があります。

傍聴者の声から

平成30年第3回定例会を傍聴された方から寄せられた御意見等を御紹介します。

●議員が質問、答弁を受けているのに、関心がないのでしょうか。会議中の居眠り議員がいることはとても残念です。もっと身を入れて議会に臨んでほしいと思います。

傍聴者の声をお待ちしています

市議会を傍聴された方には「傍聴者の声」の記載様式をお渡ししております。1人でも多くの方からの御感想・御意見をお待ちしています。

本会議の会議録をごらんいただけます

本市議会では、地方自治法の規定により作成した本会議の会議録については、市議会ホームページにおいて「会議録検索システム」として公開しているほか、市議会事務局はもとより市民図書館、各市民センター・公民館に設置していますので、ぜひ御利用ください。

また、検索システムについては、詳しくは以下までお問い合わせください。

議会事務局議事調査課
017-734-5743



会議録検索システムへのQRコードです

編集後記

委員 斎藤 憲雄

編集方針を変え、既に7回目の発行となりました。より読みやすく、よりわかりやすく、より親しみやすい紙面になるよう、議会広報を所管する委員会で議論し、発行してきました。改選を迎え、新たな委員構成となりますが、今後もこの方針のもと、市民の皆さんにとってより身近な議会だよりの発行に向け、努力してまいります。